

パパ☆育児休業取得中です

いわき市役所職員の国井賢一さんは、「子どもが好きだから」という理由で、お子さんが1歳のときから現在も育児休業を取得しています。市では管理職が育児休業を取る場合に代替要員がつかいません。そのまま1名減で職場に迷惑をかけるか、降格願いを提出するか、育児休業取得を諦めるか…。国井さんは、これからも積極的に子育てに関わりたいと降格願いを提出し、育児休業を取得することを選びました。以下は、国井さんへのインタビューと読者の皆さんへのメッセージです。



国井賢一さんご家族

Q.育児休業中の子育てで学んだこと・気づいたことをおしえてください。

A.いくつかあります。

子は親の鏡

見取り稽古と言われるように、子どもは何でも見て学びます。洗濯物を干す手伝いや、「こんにちは」と頭を下げてあいさつをするなど、それは身近な親を手本とすることが多いのです。

怒らないで叱る

地元(茨城県在住)の子育て支援センターの先生に、「親が怒ったり、力ずくで物事を解決していくと、子どもはお友達にもそうしていいものだと思ってしまうので、悪いことをしたときは、両手を握り何回もよく言い聞かせるのです。」と、怒るよりも叱ることが大事だと言われました。

近くの先輩に素直に聞く

男性の育児休業が珍しいのか、会う方々によく声をかけていただくので、その時々で困ったことやわからないことなどを尋ね、教えていただくことがとても有り難かったです。

**子どもと遊ばない(遊ぶ時間がない)
お父さんが多い**

遊び場で、他の子どもたちにも抱っこや「たかいたかい」をしてあげると、嬉しそうな顔で「もっともっと」と寄ってきます。お母さん方の話を聞くと、お父さんは仕事が忙しくて遊んでくれないそうです。

三つ子の魂百まで

よくお会いする方に、「3歳まで愛情を注いで育てれば、それ以降は誰に預けても絶対に悪い子にはならないよ。だってうちの子がそうだもん。」と何度も言われました。

Q.父親が子育てをするうえでの不都合はありますか。

A.「子育ては母親にしかできないことがある」と育児休業取得に反対した身内もいましたが、実際にやってみると、おっぱいをあげる以外は決してできないことはないと感じました。

Q.賢一さんの家事や子育てについてどのように思っていますか。(妻のコメント)

A.とても有り難く、頼りになります。おかげで安心して仕事に行けます。夫婦二人の子どもであり、家族の生活を考えれば、夫も育児を分担するのは当然のことと考えますが、その当然のレベルを超えて積極的に育児や家事をやってくれることに感謝しています。

○最後に、読者の皆さんへのメッセージをお願いします。

遊び場などで、「旦那は何もやってくれない。」「休みの日、旦那はゆっくりしているのに自分は子どもといつも同じ時間帯で動く。」「疲れた疲れたと言い、子どもと遊んでくれない。」というお母さんがいます。ちょっとした行動でだいぶ評価が変わるのと思うことばかりです。

メインに育児をする人をサポートするために、食器の片付けや子どもと遊ぶ、おむつを替えるなどのことを休みの日に手伝うだけでも大変助かると思います。また、その人がひとりになる時間を毎日30分でもいいから作ってあげると、リフレッシュになり、大変良いと思います。